大学・高専機能強化支援事業（支援２：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）
【大学　一般枠、特例枠】実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F127210111989	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）
大学名	大阪公立大学	設置区分	公立	事業計画名	大阪公立大学大学院情報学研究科の定員増及び機能強化（情報学分野におけるデジタル人材育成プラットフォームの形成）
学校種	大学	都道府県	大阪		

1.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画（上欄：研究科等の設置等及びその準備（設置認可申請等）、下欄：教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組）と取組状況及び自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和5年度	情報学研究科 基幹情報学専攻　博士前期課程　収容定員に係る学則変更届出予定 情報学研究科 学際情報学専攻　博士前期課程　収容定員に係る学則変更届出予定	3月 情報学研究科 基幹情報学専攻　博士前期課程 収容定員に係る学則変更届出済 3月 情報学研究科 学際情報学専攻　博士前期課程 収容定員に係る学則変更届出済	令和5年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	①＜教育＞9月~3月：新カリキュラム検討、アンバサダー制度試行、社会人履修証明プログラム検討、 ＜学則＞~12月まで：令和7年度定員増に係る学則改正の届出 ②＜施設＞8月~3月：教室等環境整備の基本構想検討、研究室・院生居室順次整備 ③＜入試＞10月~3月：令和7年度募集要項検討、他大学・社会人・留学生の受入拡大に向けた検討 ④＜国際＞8月~3月：トップセミナー開催、ダブルディグリープログラム実施、海外提携校拡大に関する開拓 ⑤＜人事＞9月~2月：新規特任教員・職員採用、候補者選考、候補者の決定、人事委員会承認手続等	①＜教育＞9月~3月：新カリキュラム検討、アンバサダー制度試行、社会人履修証明プログラム検討、 ＜学則＞~3月まで：令和7年度定員増に係る学則改正の届出 ②＜施設＞8月~3月：教室等環境整備の基本構想検討、研究室・院生居室順次整備 ③＜入試＞10月~3月：令和7年度募集要項検討、他大学・社会人・留学生の受入拡大に向けた検討 ④＜国際＞8月~3月：トップセミナー開催、ダブルディグリープログラム実施、海外提携校拡大に関する開拓 ⑤＜人事＞9月~2月：新規特任教員・職員採用、候補者選考、候補者の決定、人事委員会承認手続等	左の①~⑤のうち、⑤については、2025年度4月からの入学定員増に向けた事前の準備として、2024年度中の特任教員3名の採用計画に向けて準備を行い、１名は当該年度中からの雇用を開始した。残る2名も当該年度中に研究科内での候補者の選考から採用手続まで完了したものの、2024年2月に候補者本人から採用辞退(他大学就任)の報を受けることになった。当初計画との見込みとの差異は生じたもの、改めて2024年度中の採用計画で対応を進める。	
令和6年度			令和6年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	①＜教育＞9月~3月：重点課題教育実施、アンバサダー制度実施、社会人履修証明プログラム施行実施 ＜学則＞~12月まで：カリキュラム改正等に関する学則改正の届出(予定) ②＜施設＞4月~3月：情報教育教室・実習設備計画（定員増に向けた事前準備） ③＜入試＞4月~3月：他大学・留学生を含む募集広報活動の実施、令和7年度 大学院入試実施 ④＜国際＞4月~3月：海外トップセミナー開催、ダブルディグリープログラム実施、海外提携校開拓 ⑤＜人事＞5月~12月：特任教員の採用、アンバサダー制度登録者の増員、客員教員登用	①＜教育＞4月~3月：重点課題教育実施、アンバサダー制度実施、社会人履修証明プログラム施行実施 ＜学則＞~12月まで：R7年度のカリキュラム改正は見送りのため、学則改正は次年度以降に実施予定。 ②＜施設＞4月~3月：情報教育教室・実習設備計画（定員増に向けた事前準備） ③＜入試＞4月~3月：他大学・留学生を含む募集広報活動の実施、令和7年度 大学院入試実施 ④＜国際＞4月~3月：海外トップセミナー開催、ダブルディグリープログラム実施、海外提携校開拓 ⑤＜人事＞5月~12月：特任教員の採用(一部、令和７年度以降の計画に繰越)（計画変更承認日：令和7年3月26日）、アンバサダー制度登録者の増員、客員教員登用	左の①~⑤のうち本事業の本格稼働に向けた準備・対応を推進した。 ①のうち、英語コースや履修証明プログラムの検討に伴い、R6年度中の検討でR7年度からのカリキュラム改正は予定がなかったため、学則改正は行わなかった。 ②は助成金を有効に活用して大学院自習室などの環境整備を行った。③の入試はR7年度からの博士前期課程の入学定員増に向けた広報活動を自主経費を投入して実施し、大学院定員増に係る入試を適切に実施した。④は自主経費を活用して海外トップセミナーの開催、ダブルディグリープログラム、提携校の拡大について目標を上回る取り組みを展開した。⑤の特任教員の採用に関しては、候補者のリクルート活動を積極的に行ったものの、採用候補者を慎重に選定した結果、R7年度からの新規採用は2名に留まり、次年度以降に繰り越して採用する計画とした（計画変更申請はR7年3月26日に受理）。	
令和7年度	【入学定員増の計画】＜修士＞105人（15名増） 情報学研究科 基幹情報学専攻：博士前期課程 入学定員75人 情報学研究科 学際情報学専攻：博士前期課程 入学定員30人	令和7年4月~　情報学研究科 基幹情報学専攻　博士前期課程　10名増　入学定員75人 令和7年4月~　情報学研究科 学際情報学専攻　博士前期課程　　5名増　入学定員30人	令和7年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	①＜教育＞4月~3月：入学定員増(第１段階の実施)、新カリキュラム開始(予定)、重点課題教育実施、トップセミナー、アンバサダー制度・ミーティング実施、社会人履修証明プログラム実施 ②＜施設＞4月~3月：施設整備・設備機器の導入(~令和13年度まで順次実施) ③＜入試＞4月~3月：募集広報活動の実施、令和8年度 大学院入試実施 ④＜国際＞4月~3月：海外トップセミナー開催、ダブルディグリープログラム実施、海外提携校開拓 ⑤＜社会連携＞4月~3月：スタートアップ＊パートナーシップ、イノベーションアカデミー事業実施、産学官連携事業	①＜教育＞4月~3月：入学定員増(第１段階の実施)、新カリキュラム開始(予定)、重点課題教育実施、トップセミナー、アンバサダー制度・ミーティング実施、社会人履修証明プログラム検討 ②＜施設＞4月~3月：施設整備・設備機器の導入(~令和13年度まで順次実施) ③＜入試＞4月~3月：募集広報活動の実施、令和8年度 大学院入試実施 ④＜国際＞4月~3月：海外トップセミナー開催、ダブルディグリープログラム実施、海外提携校開拓 ⑤＜社会連携＞4月~3月：スタートアップ＊パートナーシップ、イノベーションアカデミー事業実施、産学官連携事業	左の①~⑤のうち本事業の本格稼働に向けた準備・対応を推進した。 ①のうち、入学定員増（第1段階）を実施、トップセミナー及びアンバサダー制度・ミーティング、重点課題教育は実施済み、新カリキュラム導入及び社会人履修証明プログラムは実施に向け準備中。 ②は助成金を有効に活用し、教室の備品等の環境整備について、優先度の高い事項から計画的に実施した。 ③の入試は自主経費を活用し、入試に向けた広報活動を積極的に展開するとともに、入試を適切に実施した。 ④は自主経費を活用し、海外トップセミナーの開催等をはじめ、ダブルディグリープログラム及び提携校拡大を積極的に推進し、目標以上の成果を得た。 ⑤本学教員が起業したベンチャー企業において、学生が学生社員として有償で実務に参画する産学連携型の実践教育を継続実施した。学生社員数は事業開始当初の4名から26名に拡大し、ソフトウェア受託開発や実務型OJTを通じて、実践的ITスキル及び社会実装を意識した課題解決能力の向上につなげている。	
令和8年度			令和8年度自己評価	リストから選択してください。
	①＜教育＞4月~3月：入学定員増(第１段階完成年度)、重点課題教育実施、トップセミナー、アンバサダーミーティング実施、社会人履修証明プログラム実施、インターンシップ、キャリア支援実施、高大連携事業実施(R8.3.24承認) ②＜施設＞4月~3月：施設整備・設備機器の拡充 ③＜入試＞4月~3月：募集広報活動の実施、令和9年度 大学院入試実施 ④＜国際＞4月~3月：英語履修プログラムの実施、海外提携校との連携、海外トップセミナー、海外研究者招聘セミナー、ダブルディグリープログラムの実施、海外提携校開拓 ⑤＜社会連携＞4月~3月：スタートアップ＊パートナーシップ、イノベーションアカデミー事業、産学官連携事業			
令和9年度	情報学研究科 基幹情報学専攻　博士前期課程　収容定員に係る学則変更届出予定 情報学研究科 学際情報学専攻　博士前期課程　収容定員に係る学則変更届出予定		令和9年度自己評価	リストから選択してください。
	①＜教育＞4月~3月：重点課題教育実施、トップセミナー、アンバサダーミーティング実施、社会人履修証明プログラム、インターンシップ、キャリア支援実施、高大連携事業実施(R8.3.24承認) ②＜施設＞4月~3月：施設整備・設備機器の拡充 ③＜入試＞4月~3月：募集広報活動の実施、令和10年度 大学院入試実施 ④＜国際＞4月~3月：英語履修プログラムの実施、海外提携校との連携、海外トップセミナー、海外研究者招聘セミナー、ダブルディグリープログラムの実施実施、海外提携校開拓 ⑤＜社会連携＞4月~3月：スタートアップ＊パートナーシップ、イノベーションアカデミー事業、産学官連携事業			
令和10年度			令和10年度自己評価	リストから選択してください。
	①＜教育＞4月~3月：重点課題教育実施、トップセミナー、アンバサダーミーティング実施、社会人履修証明プログラム、インターンシップ、キャリア支援実施、教育シンポジウム、オープンラボ開催、高大連携事業実施(R8.3.24承認) ②＜施設＞4月~3月：定員増(第2段階)に係る教室等環境整備・拡充 ③＜国際＞4月~3月：英語履修プログラムの実施、海外提携校との連携、海外研究者招聘セミナー、ダブルディグリープログラムの拡大に向けた取り組み ④＜入試＞4月~3月：募集広報活動の実施、令和11年度 大学院入試実施 ⑤＜社会連携＞4月~3月：スタートアップ＊パートナーシップ、イノベーションアカデミー事業、産学官連携事業			
令和11年度			令和11年度自己評価	リストから選択してください。
	①＜教育＞4月~3月：入学定員増(第２段階の実施)、重点課題教育実施、トップセミナー、アンバサダーミーティング実施、社会人履修証明プログラム、インターンシップ、キャリア支援実施、高大連携事業実施(R8.3.24承認) ②＜施設＞4月~3月：施設整備・設備機器の充実 ③＜国際＞4月~3月：英語履修プログラムの実施、海外提携校との連携、海外トップセミナー、海外研究者招聘、ダブルディグリープログラムの拡大に向けた取り組み ④＜入試＞4月~3月：募集広報活動の実施、令和12年度 大学院入試実施 ⑤＜社会連携＞4月~3月：スタートアップ＊パートナーシップ、イノベーションアカデミー事業、産学官連携事業			
令和12年度			令和12年度自己評価	リストから選択してください。
	①＜教育＞4月~3月：入学定員増(第２段階完成年度)、重点課題教育の実施、トップセミナー、アンバサダーミーティング実施、社会人履修証明プログラム、インターンシップ、キャリア支援実施、高大連携事業実施(R8.3.24承認) ②＜施設＞4月~3月：施設整備・設備機器の拡充（主に森之宮キャンパス(予定)） ③＜国際＞4月~3月：英語履修プログラムの実施、海外提携校との連携、海外トップセミナー、海外研究者招聘、ダブルディグリープログラムの取り組み拡大・実施 ④＜入試＞4月~3月：募集広報活動の実施、令和13年度 大学院入試実施 ⑤＜社会連携＞4月~3月：スタートアップ＊パートナーシップ、イノベーションアカデミー事業、産学官連携事業、「情報学・異分野融合推進シンポジウム」開催(森之宮キャンパスにて実施(予定))			
令和13年度			令和13年度自己評価	リストから選択してください。
	①＜教育＞4月~3月：持続可能な大学院機能強化・高度化、重点課題教育の実施、トップセミナー、アンバサダーミーティング実施、社会人履修証明プログラム、インターンシップ、キャリア支援実施、高大連携事業実施(R8.3.24承認) ②＜施設＞4月~3月：施設整備・設備機器の拡充（主に森之宮キャンパス(予定)） ③＜国際＞4月~3月：英語履修プログラムの実施、海外提携校との連携、海外トップセミナー、海外研究者招聘、ダブルディグリープログラムの取り組み拡大・実施 ④＜入試＞4月~3月：募集広報活動の実施、令和14年度 大学院入試実施 ⑤＜社会連携＞4月~3月：スタートアップ＊パートナーシップ、イノベーションアカデミー事業、産学官連携事業			
令和14年度			令和14年度自己評価	リストから選択してください。
	①＜教育＞4月~3月：持続可能な大学院機能強化・高度化、重点課題教育の実施、トップセミナー、アンバサダーミーティング実施、社会人履修証明プログラム、インターンシップ、キャリア支援実施、期間後の持続可能な体制整備検討、高大連携事業実施(R8.3.24承認) ②＜施設＞4月~3月：施設整備・設備機器の調整（主に森之宮キャンパス(予定)） ③＜国際＞ 4月~3月：英語履修プログラムの実施、海外提携校との連携、海外トップセミナー、海外研究者招聘、ダブルディグリープログラムの取り組み拡大・実施 ④＜入試＞4月~3月：募集広報活動の実施、令和15年度 大学院入試実施、博士後期課程進学者拡大に向けた検討と取り組み 及び 博士後期課程の定員増に向けた検討（自主取組） ⑤＜社会連携＞4月~3月：スタートアップ＊パートナーシップ、イノベーションアカデミー事業、産学官連携事業 ⑥＜事業完了報告＞：事業の点検・評価(毎年実施・最終総括)、報告会・シンポジウムの開催、成果報告書の作成他			

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	大阪公立大学

2.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学

ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反」が付されている大学

ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の〇の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

3.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、学部を置かない大学や新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）

④ 特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる研究科・専攻等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野のうち情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員（研究科、専攻の定員の増員を伴わないものを含む。）、専攻に係る課程の変更（研究科、専攻、コース等の設置・増員及び専攻に係る課程の変更に伴う学部、学科、コース等の設置・増員（学部、学科の定員の増員を伴わないものを含む。）を含む。）（以下「研究科等の設置等」という。）による体制強化の計画であること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学則において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。

⑦ 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る研究科等の設置等の取組であること。

⑧ 教育の実績を有する既設の情報系分野に係る研究科、専攻（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学において、高度情報専門人材を育成する計画であること。（大学（特例枠）については、既設の情報系分野に係る学部、学科（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学とする。）

⑨ 機構による事業計画の選定があった日から２年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる研究科等の設置等を行う計画であること。

⑩ 計画の対象となる研究科等の設置等において、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）15名以上又は大学院博士課程（博士後期課程を含む。）５名以上の入学定員の増員を行う計画であること。

⑪ 国立大学について、大学全体の収容定員の増員を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第５期中期目標期間終了時までに他学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う計画であること。

⑫ 教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。

⑬ 文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑫の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の〇の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
すべての項目が要件を満たしている												

①～⑫の要件を満たしていない又は対象でない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑬,⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑬,⑭について	現在の状況
⑬文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。	認定を受けている
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

4.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績及び申請時の計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

① 地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学は設立団体である大阪府・大阪市と連携し、地方都市発展のために「都市シンクタンク」機能と「技術インキュベーション」機能を強化し、日本社会の抱える産業構造の転換と発展、少子高齢化と国際化に対応した社会課題の解決に向けた取り組みを推進している。行政からの政策ニーズ、産業界からの共同研究テーマや人員交流に対応し、全学横断的なプロジェクトを遂行し、その中心に「情報学」があり、府市と大学が定めた「スマートシティ」、「パブリックヘルス」、「スマートエイジング」及び「バイオエンジニアリング」の４領域で課題解決に向けた教育研究、提言、実証実験等を推進する。本事業では、国のデジタル・AI戦略にも呼応して、社会人の履修プログラムを新設し、研究機関や企業で不足しているIT人材を供給するだけでなく、「スタートアップ＊パートナーシップ」により、高度情報専門人材が産官学民と交わり、知識・技術・人的資本の交流を通じて連携のみならず課題解決のソリューションを生み出す副次的効果までを狙いとしている。	令和7年度における「スタートアップ＊パートナーシップ」事業では、本学教員が起業したベンチャー企業において、学生が有償で実務に参画する実践教育を継続的に実施した。学生社員は当初の4名から26名へ拡大し、情報学研究科からは博士前期課程1年次7名、同2年次5名が参画した。これまでに16名が卒業・修了しており、人材の継続的な循環が形成されつつある。 令和7年度は年間約7件のソフトウェア受託開発案件を遂行し、累計40名以上の学生社員に対して実務型OJTおよび有償就業機会を提供した。学生はプログラム開発やシステム運用等の実務経験を通じて、実践的スキルおよび社会実装を意識した課題解決能力の向上につなげている。また、大阪公立大学公式アプリ「OMU＋」は1日当たり1万人以上に利用される学内情報基盤として定着している。 さらに、情報学研究科を中心とした「×情報学」の取組では、都市課題、健康・医療、高齢化対応、生命科学分野等を対象に教育研究基盤の充実を進めた。万博関連イベントでの研究成果発信やドイツ人工知能研究センター（DFKI）との国際連携、デジタルツインを活用した文化資産のデジタル化など、社会実装を見据えた取組を展開している。また、中百舌鳥キャンパスに整備したスマートエネルギー棟を新たな拠点として活用し、研究者間及び民間・行政等の学外機関との連携体制の強化を図りつつ、共創を促進するプラットフォームの開発・実証を進めた。今後も、本プラットフォームを基盤として産官学民連携による実践的教育研究を推進し、社会課題解決に資するユースケースの創出と社会実装のさらなる展開を目指す。	

② 初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学は、前身の大阪市立大学・大阪府立大学において、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が助成する次世代人材育成事業、女子中高生の理系進路選択プログラム、未来の科学者育成ラボ等に申請・採択され、若年層の教育も継続的に実施してきた。理系分野の研究室では、オープンラボ、出前授業、模擬講義、見学会、相談会を実施している。また、高校教員のための講座を開講し、高大接続事業を推進している。本事業では理数系ジェンダーギャップの解消や「情報学」分野を学びたいと考える小・中・高校生及び高専生の増加を目指して、初等中等教育段階の生徒向けの説明も行い、相談会・模擬授業・体験学習の機会を提供し、裾野拡大に努める。また、学校訪問や進路説明会に参画し、「情報学」の学問分野自体の魅力を伝える広報も行い、情報学が幅広い領域で社会で役に立つ学問であることを知ってもらう。その他、研究室見学及び修論発表会の聴講など情報学分野への進学目指す若年者層を増やす活動を積極 的に展開する。	高校との高大連携事業として、大阪府立大手前高等学校、都島工業高等学校、四天王寺東高等学校、千里青雲高等学校、桜塚高等学校、福井県立美方高等学校及び土佐中学校・高等学校の計7校・約3,000名を対象に、Python及びJavaScriptによるプログラミング学習サイトを公開し、情報教育及び探究学習の支援を実施した。また、探究学習の高度化に向けて、FPGAを用いたCPU制作教材やAIモデル実行環境の整備を進め、大学の研究知を活用した実践的な学修機会の提供を行った。これらの取り組みを通じて、高校における情報・AI教育の充実と探究活動支援を推進するとともに、高校教員との継続的な連携体制の構築を進めた。探究学習支援については、高校教員との連携をより深めることで、より効果的な支援につながる可能性が示唆された。	

③ 女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
令和5年(2023年)5月1日現在、本研究科の博士前期課程の在籍者のうち、女子学生は10.7%、社会人学生は1.5%、留学生は14.8%である。今後、入学定員の増員に向けて、令和14年度(2032年度)までの10カ年で、女子学生・社会人・留学生の割合を全学生の約30~35%以上に増加させる。女子学生の大学院進学は、理系分野への大学進学も必要であるため、本学学士課程への女子学生比率を高めるため、小・中・高校向けの説明会等を強化する。また、他大学との科目履修、他大学を含めた数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度の修了者の志願を募る。社会人に対しては、企業等で求められるデータサイエンティストの履修証明プログラムを実施し、意欲ある社会人や既に理系分野の研究者で情報学の学位取得を目指す社会人を研究生・客員研究員として受け入れ、スムーズな進学に繋げる。留学生に関しては、短期留学を端緒とした研究生の受け入れ及びダブルディグリープログラムの強化により、志願者の拡大を目指す。	令和7年度は、博士前期課程の入学定員増を踏まえ、大学院入試に係る募集広報活動及び入試実施体制の充実を図った。広報活動については、自主経費を活用し、SNS広告や主要駅構内でのデジタルサイネージ広告を実施するなど、学内外への広報強化に取り組んだ。また、他大学出身学生、社会人学生、留学生及び女子学生の志願者増加に向け、継続して広報施策及び受入体制の充実を進めた。 教育プログラムに関しては、教務委員会を中心に履修証明プログラムの検討を進め、令和8年秋の開講に向けた準備を継続して実施している。また、留学生の受け入れ拡大及び国際化推進に向け、英語のみで修了可能な教育課程（コース）についても、令和8年開講に向けた取組を進めている。加えて、海外提携校の拡充や海外からの研究生・客員研究員の受け入れを通じて、優秀な留学生の確保に向けた取組を継続している。	

④ 他の大学（外国大学を含む。）・高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
現在、本学は、世界各国・地域で238の海外提携校を有し、さらに提携校の拡大を目指している。情報学研究科では、ドイツの人工知能研究センター（DFKI）、フランスのCYセルジーパリ大学（CY-TECH）、国立高等応用電子学院（ENSEA）、カンボジアの王立プノンペン大学（RUPP）などと密接な連携関係を保持し、研究者・大学院生の交流及び留学生の受け入れを推進している。ドイツDFKIは、大阪公立大学内にドイツ国外初(日本初)のラボを設置し、人工知能に関する共同研究及び人材育成を推進している。CY-TECH及びENSEAとのダブルディグリープログラム（DD）では毎年4~5名、これまでに合計29名を受け入れてきた。カンボジアのRUPPとは情報学分野全般の基礎研究と応用研究を進め、カリキュラム開発や本学で英語のみで修了できるコースの開設に向けて研究者間のFD活動の推進と留学生の受け入れを強化する。本学の国際的にも魅力ある教育環境に他大学・高専生と優秀な留学生の受け入れをさらに拡大する。	国内の他大学との連携については、近隣の他大学の学士課程学生を対象に、本研究科の学びや大学院進学に関する特別授業を実施した。また、大阪大学が代表を務める「データ関連人材育成関西地区コンソーシアム（DuEX）」の協定校として、令和7年度は大阪大学・神戸大学から特別履修生2名を受け入れた。加えて、大阪大学との学生交流に関する協定に基づき、本学学生1名を派遣するなど、大学間における教育・研究交流を推進した。研究科の国際化に向けては、自主経費を活用し、海外大学等の教員を招聘した講座（海外トップセミナー）を年間を通じて8回開催し、世界最先端の情報学分野の研究に関する情報提供を本研究科のみならず全学の教員・学生向けに発信し、国際化推進の契機とした。学生の国際学会への渡航支援も自主経費で継続実施し、年間で18名の大学院生に支援を行った。具体的な海外大学・海外研究機関との連携では、ドイツ人工知能研究センター（DFKI）、フランスのCYセルジーパリ大学（CY-TECH）、国立高等応用電子学院（ENSEA）等との連携を継続して実施した。また、新たにインド工科大学ダンバード校との部局間交流協定を締結したほか、リュブリャナ大学とのErasmus＋協定を締結し、国際交流基盤の拡充を図った。さらに、フランスのEPITA（情報先端技術学校）から職員を受け入れ、共同研究や学生交流の可能性について意見交換を行うなど、今後の連携強化に向けた取組を推進した。研究室単位においても、研究生・客員研究員の受け入れを継続し、博士前期課程及び博士後期課程への進学促進につながる取組を進めた。また、2026年８月に大阪公立大学工業高等専門学校の学生3名を教育研究実習受け入れ予定。	

大学名	大阪公立大学	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）

1.本事業対象となる情報系組織の状況

1－2.修士課程

<合計>

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
	事業計画に定める定員	入学定員	人	90	90	105	105	105	105	120	120	120	120									
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	90	90	105	105	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数	人	94	103	124	121	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	8	5	9	9	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	3	7	9	11	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数	人	2	4	6	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	2	4	6	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	入学者合計	入学定員（A）	人	90	90	105	105	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		入学者数（B）	人	96	107	130	121	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女子学生数	人	8	5	9	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		社会人学生数	人	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		留学生数	人	5	11	15	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.07	1.19	1.24	1.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員（C）	人	180	180	195	210	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		在籍者数（D）	人	199	200	231	248	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.11	1.11	1.18	1.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	96	92	104	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		就職者数	人	87	80	94	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		進学者数	人	3	4	3	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		その他	人	6	8	7	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		進路不明	人	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	25	25	25	25	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		授業科目の単位数	単位	64	64	64	64	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE

大学名	大阪公立大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）	本事業対象となる研究科等の個数	2

1.本事業対象となる情報系組織の状況

1－2.修士課程

<内訳>

(1) 改組組織名：情報学研究科　基幹情報学専攻

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
改組状況				選定		増員				増員												
事業計画に定める定員		入学定員	人	65	65	75	75	75	75	85	85	85	85									
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	65	65	75	75															
		入学者数	人	67	69	75	76															
		女子学生数	人	5	2	2	3															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	1	5	8	11															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	2	4	6																
		女子学生数	人	0	0	0																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	2	4	6																
	入学者合計	入学定員(A)	人	65	65	75	75	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	69	73	81	76	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	5	2	2	3	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	3	9	14	11	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.06	1.12	1.08	1.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	130	130	140	150															
		在籍者数(D)	人	138	137	147	155															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.06	1.05	1.05	1.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	65	65	69	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		就職者数	人	60	57	62																
		進学者数	人	3	4	2																
		その他	人	2	4	5																
		進路不明	人	0	0	0																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	12	12	12	12															
		授業科目の単位数	単位	40	40	40	40															

大学名	大阪公立大学

(2)

改組組織名	情報学研究科　学際情報学専攻

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
改組状況				選定		増員				増員												
	事業計画に定める定員	入学定員	人	25	25	30	30	30	30	35	35	35	35									
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	25	25	30	30															
		入学者数	人	27	34	49	45															
		女子学生数	人	3	3	7	6															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	2	2	1	0															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	0	0	0																
		女子学生数	人	0	0	0																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	0	0	0																
	入学者合計	入学定員(A)	人	25	25	30	30	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	27	34	49	45	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	3	3	7	6	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	2	2	1	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.08	1.36	1.63	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	50	50	55	60															
		在籍者数(D)	人	61	63	84	93															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.22	1.26	1.53	1.55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	31	27	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		就職者数	人	27	23	32																
		進学者数	人	0	0	1																
		その他	人	4	4	2																
		進路不明	人	0	0	0																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	13	13	13	13															
		授業科目の単位数	単位	24	24	24	24															

大学名	大阪公立大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）

2.情報系組織の状況

2－1.博士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	15	15	15	15															
		入学者数	人	9	3	7	9															
		女子学生数	人	1	1	0	3															
		社会人学生数	人	2	2	2	2															
		留学生数	人	3	2	2	3															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	0	1	4																
		女子学生数	人	0	0	1																
		社会人学生数	人	0	0	2																
		留学生数	人	0	1	1																
	入学者合計	入学定員(A)	人	15	15	15	15	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	9	4	11	9	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	1	1	1	3	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	2	2	4	2	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	3	3	3	3	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.60	0.27	0.73	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	30	45	45	45															
		在籍者数(D)	人	19	22	28	33															
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.63	0.49	0.62	0.73	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	-	2	8																
		就職者数	人	-	2	3																
		進学者数	人	-	0	0																
		その他	人	-	0	5																
		進路不明	人	-	0	0																
	大学院博士課程	満期退学者数	人	-	0	0																
		学位取得者数	人	-	1	5																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	25	25	25	25															
		授業科目の単位数	単位	24	32	32	32															

大学名	大阪公立大学	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）

2.情報系組織の状況

2－2.修士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	90	90	105	105															
		入学者数	人	94	103	124	121															
		女子学生数	人	8	5	9	9															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	3	7	9	11															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	2	4	6																
		女子学生数	人	0	0	0																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	2	4	6																
	入学者合計	入学定員(A)	人	90	90	105	105	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	96	107	130	121	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	8	5	9	9	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	5	11	15	11	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.07	1.19	1.24	1.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	180	180	195	210															
		在籍者数(D)	人	199	200	231	248															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.11	1.11	1.18	1.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	96	92	104																
		就職者数	人	87	80	94																
		進学者数	人	3	4	3																
		その他	人	6	8	7																
		進路不明	人	0	0	0																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	25	25	25	25															
		授業科目の単位数	単位	64	64	64	64															

大学名	大阪公立大学	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）

2.情報系組織の状況

2－3.学士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	137	137	137	137															
		入学者数	人	147	144	132	128															
		女子学生数	人	27	20	20	19															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	0	0	1	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	137	137	137	137	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	147	144	132	128	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	27	20	20	19	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	0	0	1	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.07	1.05	0.96	0.93	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	247	441	552	552															
		編入学定員	人	0	2	2	2															
		在籍者数(D)	人	277	418	565	526															
		編入学者数	人	0	2	6	1															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.12	0.95	1.02	0.95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	-	-	-																
		就職者数	人	-	-	-																
		進学者数	人	-	-	-																
		その他	人	-	-	-																
		進路不明	人	-	-	-																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	25	25	25	25															
		授業科目の単位数	単位	46	80	80	80															

大学名	大阪公立大学	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）

3.大学全体の状況

3－1.博士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	271	271	276	278															
		入学者数	人	233	189	204	212															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	26	24	31																
	入学者合計	入学定員（A）	人	271	271	276	278	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	259	213	235	212	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.96	0.79	0.85	0.76	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-		
	収容定員等	収容定員（C）	人	542	813	901	908															
		在籍者数（D）	人	477	655	821	885															
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.88	0.81	0.91	0.97	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-		

3.大学全体の状況

3－2.修士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	1,164	1,164	1,199	1,224															
		入学者数	人	1,224	1,289	1,353	1,359															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	8	9	10																
	入学者合計	入学定員（A）	人	1,164	1,164	1,199	1,224	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	1,232	1,298	1,363	1,359	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.06	1.12	1.14	1.11	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-		
	収容定員等	収容定員（C）	人	2,328	2,328	2,363	2,423															
		在籍者数（D）	人	2,966	2,596	2,702	2,885															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.27	1.12	1.14	1.19	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-		

大学名	大阪公立大学	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）

3.大学全体の状況

3－3.学士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	2,853	2,853	2,852	2,851															
		入学者数	人	2,927	2,931	2,975	2,979															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員（A）	人	2,853	2,853	2,852	2,851	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	2,927	2,931	2,975	2,979	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.03	1.03	1.04	1.04	-	-	-	-	-										
	収容定員等	収容定員（C）	人	5,707	8,616	11,534	11,667															
		編入学定員	人	1	61	61	61															
		在籍者数（D）	人	5,803	8,682	11,581	12,126															
		編入学者数	人	2	31	67	77															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.02	1.01	1.00	1.04															

4.外部資金の状況（全学）

項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
外部資金獲得額	千円	11,166	13,229	10,884																

特記事項